

i 留学 研修報告書

記入 | R4 年 3 月

所属 | 教育学部 1 年生

研修先大学 (国名)	同済大学 (中国)
研修プログラム名	2022 Tongji University "Tongzhou" Online Winter Camp for Chinese Studies
研修期間	2022/02/08~2022/02/15

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

中国人の生の発音をきいてみたいと思い、1 年生での学びの復習を兼ねて研修に参加しました。世界中から様々なレベルの語学者が研修に参加するため、語学レベルを問わず誰でも気軽に参加することができます。応募フォームを記入後に同済大学に送信することで申し込みできます。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

研修内容は主に 4 つに分けられます。

1. 中国語学習

…中国語をレベル別のクラスに分かれてオンラインで学びます。一回の授業は 150 分と長いですが、途中で休憩をとってくれます。先生は中国語と英語で教えてくれます。事前にテキストが PDF で送られますが、予習は必ずしも必要ではありません。

2. オンライン講義

…同済大学のキャンパスや研究、中国語の歴史、中国の経済成長など、中国について学ぶことができます。

3. オンライン中国旅行

…中国の観光地や名所、北京オリンピックについての知識や開会式・閉会式の裏側についてオンライン旅行を楽しむことができます。

4. 中国文化に親しむ小課題

…中国の有名な詩を朗読して動画を送る課題や、北京オリンピックのマスコットキャラクターを中国の墨画で描く課題などがあります。

1~4 で定められている回数以上の出席・課題提出が認められると、受講証明を受け取ることができます。対面ではありませんが、先生に参加者一人一人の声が届き、質問や感想にリアクションをしてくれます。オンライン授業でトラブルがあった際は、解決できるまで待ってくれますし、どうしたらよいか様々な提案をしてくれます。

3. 環境（オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど）

北京と日本との時差は1時間です。中国語の授業は北京時間で9:00~11:30、日本時間で10:00~12:30でした。生活に大きな支障なく気軽に参加できます。

オンライン環境についてですが、名古屋大学でオンライン授業を受けられている方は十分な環境です。中国語授業、オンライン講義はVoov meetingを用いて授業をしました。中国語の学習レベルに合わせてクラスに分けられます。クラス内ではWeChatというツールを用いてLINEのような感じで連絡をとりあいます。中国についてのその日の学びがわかる写真をWeChatに載せてクラス内で共有したりしていました。自分の学びに対してクラスメイトや先生が反応をくれたり、宿題で間違っている部分をその都度教えてもらったりすることができて、学びのモチベーションになりました。WeChatを通じて非常に楽しく交流できました。

4. 研修を終えて感じること&研修申込を考えている学生へのメッセージ

研修を申し込むときは中国語の学習についていけるか不安でしたが、事前に研修マニュアルが送られてきて、オンライン研修に参加するための準備から課題の提出までわかりやすく示されていて、困ることが少なかったです。レベル別でクラス分けされますが、授業を受けてみてレベルが合わなければクラスを変えることも可能です。また、クラスごとのWeChatで質問を気軽にできますし、他の受講生や先生との交流が楽しめます。中国語の授業は中国語と英語で解説されるので、中国語のみならず英語の勉強にもなります。そしてこの研修を終えて中国に対するイメージが大きく変わりました。進んだ技術やおしゃれな街をオンライン旅行で見たので、実際に行ってみたいと思いました。時差や費用、参加のための準備等を考慮してみても、数ある海外研修プログラムの中でも気軽に参加しやすいプログラムだと思います。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	0円	
その他（通信費など）	0円	
奨学金・協定校割引	0円	
計	0円	

i 留学 研修報告書

記入 | 2022 年 3 月

所属 | 法学部 1 年生

研修先大学 (国名)	中国
研修プログラム名	2022 年 同済大学 「同舟」 中国語と中国文化オンラインキャンプ
研修期間	2022.2.8~2022.2.15

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

- ・ 2021 年夏休みに同済大学の語学研修に 2 週間参加しており、その時の研修内容が魅力的だったから。
- ・ 中国語のスピーキング・リスニング能力を高めたいと思ったから。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

- ・ 言語レベル別の授業 (2 h) + 中国文化に関する一斉授業 (1 h) …すべて Voov Meeting という Zoom のようなアプリを利用。
- ・ 〈宿題に関して〉「言語レベル別の授業」のものは大体 30 分で終了。「中国文化に関する一斉授業」や事前に案内があるオンデマンドの動画を通して、一日 2 時間ほど全員必須の課題あり。
- ・ 中国語を大学で一年間学び、今回私は中級クラス配属だった。阪大外国語学部中国語専攻の方、台湾在住の方、中国語を数年学び終えた社会人の方々との非常にレベルが高いクラスで、学びになることが沢山あった。
- ・ 同じクラスの友達とは、WeChat を通して仲良くなった。授業が難しすぎて、逃げ出すことを何度も考えたが、同じクラスの友達に励まされて最後までやり抜けた。友達存在は非常に大事だと感じた。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

- ・ 時差はたった一時間、名古屋大学の中国語の授業を受けているような感覚。
- ・ 春休みでも大学の図書館は開館している。家で集中できない、通信費が気になる場合は、大学に行くのを勧める。

4. 研修を終えて感じる事 & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

- ・ 研修に参加するか迷っているのであれば、申し込んでみよう。長期休暇以外、時間を割いて集中的に中国語を学べる時間はなかなかないはずだ。他大学の人と関われる貴重な機会でもある。そしてなんとんでも研修費が無料。ぜひ参加してみよう！

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	0 円	
その他（通信費など）	1400 円	一日 4 時間×（電気代+通信費）×7 日
奨学金・協定校割引	0 円	
計	1400 円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。

・先生がすごく優しい。同済大学の語学研修はいつ参加しても、どの先生にお会いしても、本当に心温かい先生ばかり。いわゆる「先生の当たりはずれ」というのは基本的にはないと思う。

・私は研修の一週間、朝 9 時～夜 2 2 時は大学図書館にこもり中国の授業の受講&復習、夜 2 3 時～2 5 時まで次の日の授業の予習と、死に物狂いで勉強した。授業自体は確かにレベルの高いものだったが、非常に興味深い内容だったため、勉強が苦痛ということは一切なかった。非常に楽しく中国語にのめり込める一週間だった。

i 留学 研修報告書

記入 | 2022 年 2 月

所属 | 経済学部 2 年生

研修先大学 (国名)	同済大学(中国)
研修プログラム名	「同舟」中国語と中国文化オンラインキャンプ
研修期間	2022/02/8~2022/02/15

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけ：名古屋大学海外留学室のウェブページで開催を知ったこと。

応募の動機：大学では第二言語として中国語とは異なる言語を勉強した。しかし、将来のことを考えると中国語を勉強する必要もあると感じていた。中国語の勉強を進めるために参加を決めた。

申込手続：海外留学室ウェブページの指示に従って手続きをした。

語学対策：クラスの WeChat グループで配布された教科書に目を通し、関連する分野を復習した。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

(午前)中国語レッスン：2 時間 30 分間(私のクラスの先生は途中 10 分間の休憩を与えてくれた)。事前アンケートにしたがって 4 つのレベルに分けられ、クラスが割り振られた。クラスの生徒は 10 人くらいだった。私のクラスの生徒はみんな日本人のようだった(他のクラスは多国籍な生徒で構成されているようだった)。中国語と簡単な英語で行われた。授業の進むスピードは、1 日に教科書 1 章くらいだった。1 講義につき何回かは指名されたりして、質問に答えた。ブレイクアウトルームに分けられたりして学生同士で何かをする機会は無かった。難易度はちょうど良いと思った。毎日宿題が課され、クラスの WeChat グループに送ることを求められた。優しく教えるのが上手な先生に恵まれて毎日楽しかったし、中国語を上達させることが出来たと思う。

(午後)オンライントラベルなど：1 時間。全クラス合同で行われた。中国語と簡単な英語で行われることが多かったが、ほぼ全て中国語で行われることもあった。同済大学や上海タワーなどを巡った。中国語に関する講義や HSK 対策講義が行われることもあった。学生同士の交流はほぼ無かった。中国や大学所在地である上海について多く知ることが出来て、楽しかった。

(自習)：課されたビデオを見て、感想を書いたりした(感想は中国語でも、英語でも、母国語でも良いと言われた)。ビデオの話題は中国の文化から経済、政治など多岐にわたり、とても勉強になった。

参加度によって異なる証明書を受け取ることが出来る。私は全講義に参加したりすることによって得られる「荣誉证书(名誉証明書)」の獲得を目指して頑張った。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

オンライン履修環境：原因は分からないが、午前の授業中に、受講開始から1時間するとVooV(Zoomみたいなもの)の接続が悪くなるが多かった。いったん講義から退室し、再入室すると状況が改善した。そのため、その方法で対処していた。

時差：北京時間ベースで行われた。日本との時差はわずか1時間であるため、不便だとは感じなかった。

準備して良かったもの：WeChat アカウント。先生や生徒とのやりとりは WeChat を使って行われることが多い。メールで代替することも可能であるようだが、WeChat を使う方が便利だと思う。

4. 研修を終えて感じる事&研修申込を考えている学生へのメッセージ

研修を終えて感じる事：私は、言語を勉強するに当たり、まずその言語に「慣れる」ことが大切であると考えている。講義やビデオ、WeChatなどで中国語を浴びるように聞き、読み、話す機会を与えてくれるこのオンラインキャンプは、まさに中国語に慣れるのに良い手段だと思う。また、勉強熱心なクラスメート、中国語を使いこなす他のクラスの生徒などから良い刺激を受けることが出来た。中国語を継続して学び続けるためのモチベーションを得られたと思う。

また、中国人に中国を紹介してもらう機会が多くあった。外国メディアを通すことなく中国について知ることにより、中国を見るための新たな視点を得られたと思う。

研修申込を考えている学生へのメッセージ：オンラインで、しかも無料で参加出来るので、迷っているならば参加してみることをおすすめします。

5. 研修費用 (おおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
授業料 (教材費含)	円	
その他 (通信費など)	円	
奨学金・協定校割引	円	
計	(通信費)円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。